

学校名	坂戸市立勝呂小学校
実施日	H29.1.15

## 坂戸市立 勝呂小学校 平成28年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価委員評価

・「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄にはA～Dを記入してください。  
 ・「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄にはその評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めているかを明確にしてください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価委員評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組む体制を作っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習は何年も前の指導計画を使っているため各学年に今年の取り組みを聞いて内容を変えていく必要がある。</li> <li>○ 自分の担当については精一杯努力をし、子どもたちの力を伸ばすべく進めている。</li> <li>○ 目指しているだけでもっと具体的に動かないといけないと感じている。手立てを立てたら検証もしていく必要がある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長は学校づくりに特色をだすよう職員、保護者に説明して効果を上げている。</li> <li>○ 学校教育目標を掲げてそれに向かってできていると思う。(学校だより・広報・集会に参加してあいさつなどを聞いての感想)</li> <li>○ 「瞳輝く元気な学校をつくる」は概ねできていると思う。</li> <li>○ 特色ある学校づくりに取り組み、経営に力を入れていると思われます。又実施した教育活動を評価し検討を。</li> </ul>
	2	学校は、計画・実行・評価・改善のサイクルのもと、分掌経営を進めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 失敗からの改善策を共有したい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長・教頭の指導のもと、改善していると思われる。</li> </ul>
	3	学校は、自己指導力の育成を目指して組織的に生徒指導に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決まり事に曖昧な点が多い。何かあったら全体にすぐに周知徹底を図りたい。</li> <li>○ 学校生活のきまりについても細かいところでのズレがみられる所もあるので時々確認をしていく事が必要</li> <li>○ 取り組み自体は良いと思うが、生活目標を児童に理解させるとは何を持って理解しているということなのか。月が変わると先月の項目はリセットになってしまうのか。</li> <li>○ トイレのいたずら等は敏感になった方が良い。</li> <li>○ 自己決定の場面は児童にもっと任せることを増やしてあげるべきである。</li> <li>○ 生活目標は自分自身、毎日朝の会で生活目標の確認をしているのでよくできていると思</li> <li>○ 設定された自己決定場面を活用できていない。(見つけられていない)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決まりや目標が明示されそれに向かって教職員生徒が努力し、行っている。</li> <li>○ 規律の徹底は必要であろう。見せつけは良くないが個別指導でこれからも対応をお願いしたい。</li> </ul>
	4	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今のカリキュラムではこれ以上の研修は無理か？</li> <li>○ 雨の日にも一斉下校はできるのでは？地区ごとなどで外に出てやるなど。毎回でなくても</li> <li>○ 学校事故の研修は重ねているとは言えないがこれ以上はできないであろう。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不審者の侵入、火災発生等の訓練、研修が足りないのでは。</li> <li>○ 学校と保護者間での連携が徹底しているようだ。(携帯連絡網など)また事故(子ども間のトラブルなど)においても先生の対応が早い。これからもお願いしたい。</li> <li>○ 不審者対応避難訓練等が実施されている。</li> </ul>
学習	5	学校は学校教育目標の具体化を目指し、教育課程を編成・実施・評価し、教育活動の充実改善を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度末に計画の見直しを行っていく。</li> <li>○ 自分ができていないので反省しました。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者においては学校だよりやPTAの広報などが子どもの行動を知る手がかりにもなるので続けて欲しい。</li> <li>○ 定期的に学校だよりその他の書類が配布されている。</li> </ul>
	6	学校はそれぞれ各学年で基礎学力の定着を目指し、指導や取り組みを工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業以外の時間を使って学力の定着していない児童への対応をするようにしているが、それでも十分な指導はできていない。</li> <li>○ 基礎学力・基礎基本とは？もう一度考え直す必要がある。読めない児童、数字をきちんとかけない児童などいる。</li> <li>○ 指導方法・工夫について学年間、学級間で情報交換の場(児童理解、研修)が欲しい。</li> <li>○ 新しく来た職員に共通理解が図られていないことがあった。(スキルアップのやり方、○付け等)4月当初に確認できているとよかった。</li> <li>○ スキルアップ・計算スキルのくり返し活用を図っている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標達成の生徒の個別指導は難しい。</li> <li>○ 先生の意見欄に、数字、読み書きなどできない児童がいるとのことであるが低学年であろうが、保護者の努力も不可欠であると思う。(抵抗はあるであろう)</li> </ul>

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価委員評価	学校関係者評価委員会の説明
教育課程・学習	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて指導体制や授業改善に努めている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の授業が「アクティブラーニング」になっているか不安に思うこともある。</li> <li>○ アクティブラーニングについては今後とも研修を重ね、指導に活用できるようにしたい。</li> <li>○ 職員がもう一度ユニバーサルデザインについて考え教室レイアウトを考えた方がよい。</li> <li>○ 教育機器を活用した授業はコンピューター室での活動が多く、教室では十分に行うことができていない。普通教室にも教育機器を整備してもらえるとより進んで取り組む事ができる</li> <li>○ 外国語以外はパソコン室に行かなくては使えない。</li> <li>○ 機器は全体的に遅れている。各校で充実させるのは市からの援助が不可欠。ネット環境が外国語ではよくICTを活用しているようだが他教科ではほとんど活用していないと思う。</li> <li>○ 個別指導は学年下校のため放課後は全くできていない。</li> <li>○ 今年度は残念ながら少人数指導ができなかった。また少人数の前に手とり、足とりする必要がある児童が多い。2名</li> <li>○ 特に算数は昨年のように少人数指導を行い一人一人を見ていく必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も継続的なアクティブラーニング・ユニバーサルデザイン等お願いしたい。</li> </ul>
	8	学校は豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書タイムの時間に図書室に本を借りに行っている児童がいるようだ、読書の時間には事前に本を用意しておいて読書をした方が良</li> <li>○ 読書タイムは先生も一緒に読むと決まっているので守るようにしたい。</li> <li>○ 自分自身「私たちの道徳」をしっかりと活用することができていない。3名</li> <li>○ 生活科・図工・国語など合科して取り組んでいる。</li> <li>○ 読書活動は毎週1時間は確保している。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちの道徳」道徳の教科書だと思いが活用されていない。</li> <li>○ 高学年においては読書感想文や日々の生活の意見等も書かせるのも良いのではないかと。(文章離れを防ぐ意味で)</li> </ul>
	9	学校は、基本的な学習、生活習慣の定着のための指導を工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育館に集まる時など静かに入場できているのでこれは継続していきたい。</li> <li>○ 委員会のあいさつ運動だけでは大きな変化が見られていない。長期的に続けていけるとその場にあった規律ある姿勢(職員間での場も必要)について自分自身を含め、児童に指導したい。(掃除・トイレの使い方等も)</li> <li>○ 指導は行っているが児童の行動変容に結びついていない面がある。家庭との連携が必要</li> <li>○ 聞き方・話し方は少しずつ身につけてきている。あとはコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力をどのようにつけさせて行くか</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整理整頓・あいさつ等の指導はくり返し、くり返し行われている。</li> <li>○ 自分で整理整頓ができる子は「あいさつ」「言葉遣い」も何事においても良くなりきちんとできるようになると思う。これからも指導願いたい。</li> <li>○ 校外で出会った際あいさつのできる児童が増えたように見られる。</li> <li>○ 授業見学等において児童の態度は良好である。意見発表する機会の多い授業が行われているように感じる。</li> </ul>
	10	学校は、児童生徒一人一人を大切にしたい学校経営を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の悩みは闇が深い気がしてならない。</li> <li>○ 情報・薬物等言葉だけが広がり、意味が分からないまま遊び半分で、言葉を使用している児童がいる。指導はしたが実際警察の方にきて頂き話を聞く機会があるとよい。</li> <li>○ 情報モラルなどネット社会の今、教師も研修が必要。スマホ・LINE・フェイスブックなど実際に使用してトラブルになった児童もいる。ただ家庭で許可をしているものなので強制はでき効果的な指導法の情報交換があるとよい。</li> <li>○ 帰りの会で発表したり、子ども同士で「いいことノート」に書いて発表したりしています。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の悩みははばが広く、大小様々で対応が大変。</li> <li>○ 言葉遣いには日頃から先生方が重点項目として対応されている。</li> <li>○ 先生のコメントにありましたが外部者指導による子どもたちへの直接効力につながると思う。子どもたちの中にも見て見ぬふりをする人がいるが良いことを発表し合うのも必要かもしれない児童は少ないと思いますが、悩んでいる児童は早急に対処してほしい。</li> </ul>
	11	学校は、健康や体力の向上のため、指導や取組を工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持久走大会前のフレンズタイムの練習を全体で何度かできると良い。朝会でも行っているがみんなやれば練習の回数が増え、やる子が増えると思う。</li> <li>○ 朝、外遊びする児童が少ないので外で行う朝会を増やせば良い。登校後遊ぶ時間が少ない朝自習があるのだからその時間を外遊び特に体力について年間を見通し指導法を確立、伝達していくことが必要。</li> <li>○ 児童の特徴(弱点)が分かっているのであれば積極的に教具を用意すると良い。</li> <li>○ 目標を教職員がしっかり把握して手立てを工夫していくことが必要である。具体的な手立てについてあまり考えることができていない。</li> <li>○ 食育プログラムについては他学年のことなのでよく分からない。2名</li> <li>○ 5、6年で取り組んでいる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会や持久走など先生の励ましの言葉を聞くと先生も生徒指導をがんばっているのだなと感じる。</li> </ul>
	12	学校は、特別支援教育の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援の児童をクラブ等で見るときに指導に際しての留意事項など研修して欲しい。</li> <li>○ 特別支援教育について個別の実態や取り組みについて職員の研修をすると良いと思う。</li> <li>○ 交流の意味はどうか？ただ交流学級へ行き、授業を受けるだけでは交流にはならない。特別支援学校との交流、まず教師がいつてみることからか？</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級は今も閉鎖された事柄の気がする。</li> <li>○ 職員研修も大変である。</li> <li>○ 例)運動会においても運動能力がやや劣る児童に子どもたちが一生懸命応援しているのを見ると指導が行き届いていると感じました。</li> </ul>
資	13	学校は教職員の服務規律の確保に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倫理確立委員会の定期開催(1学期何回かでも)があるとありがたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人情報の時代ですから。</li> <li>○ 先生自らが行っていると考えられます。(指導者なので自信を持ってやってもらいたい。)</li> </ul>



領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価委員評価	学校関係者評価委員会の説明
領域 質の向上	14	学校は教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身研修で学んだ内容を共有することがあまりできていない。</li> <li>校内研修の来年度の計画をお願いしたい。</li> <li>希望があっても補充の先生が足りず行けない先生がいた。</li> <li>研修の共有の場がない。行きっぱなしになっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表で研修してきた事柄を研修の先生と共有することが難しい。</li> <li>研修・研究会に参加し内容の共有化(評価を含めて)をお願いしたい。</li> </ul>
学習環境	15	学校は、環境美化に努め、温かさと潤いのある学ぶ環境づくりを組織的に進めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃担当の責任者が明確ではなく学年で分けていた。明確にした方が誰がどこの責任者か分かんないと思います。</li> <li>少しずつきれいになっているが児童の清掃指導ができていない。トイレ、昇降口等汚れが目立っているが気づいていない。</li> <li>清掃時、全職員で指導にあたるのが大切。</li> <li>掲示板。少ない。学年掲示板や部会ごとにあるといい。またどこの掲示板をどこが管理するか割り振りをしてほしい。</li> <li>知らないうちに済んでいることがあり、もっと外部・地域の方が行っていることを知る必要</li> <li>沢山の樹木に囲まれ気持ちよいのだが老木(古木)も多くなってきているので細かなチェックが必要。</li> <li>言葉遣いについては教職員自身ができていない気がします。1学期よりも良くなってきたが教師が自分の事として捉えておらず児童を親しげに呼び出す姿が目立つ。</li> <li>掲示物の計画(分担)ができてるとよい。掲示物が多すぎる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAによる寄贈、プールの椅子、さらに子どもたちにも健康に留意したサーキュレーターを導入等(購入依頼)頼もしく思います。</li> <li>校舎内外が整理整頓されている。児童の作品等が多く展示されている。</li> </ul>
	16	学校は安全で機能的な教育環境づくりを進めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全点検で出してもなかなか修理されない場所もある。</li> <li>刃物による事故防止のために使用したときの本数、使用後の本数をする点検表があると教師自らが安全に使用できるか。自分でも不安なものがある。</li> <li>採光の調節が難しい。</li> <li>畑はあまり整備ができなかった。</li> <li>年間計画に基づいて使用はしているが時間に追われ放置してしまうことがある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援ボランティアやPTAによる清掃が定期的に行われているようです。</li> </ul>
	17	学校は、教材・備品を充実・整備し、学習環境の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育や理科の備品など古くなって使いにくいものがある。</li> <li>教材教具の整理については各担当が行っていくべきだと思います。(今年は特定の負担が)</li> <li>教室がいっぱい仕方の無いことかもしれない部分があるが主任や部がやらず事務の方に印刷室、算数備品の整理をして頂いている。部会や職員研修で取り組むべきではない</li> <li>市費の事務の方のご苦勞で整理されている。また予算の少ない中よくやっていただいている</li> <li>季節の掲示物やコーナーが作られていて子どもたちが本に親しみやすい環境が図書室で作られている。</li> <li>古いもの(使えないもの)がたくさんある。使えないものは処分していき新しいものを大切に使うよう職員がまずは心がける。</li> <li>理科室は学校訪問のためにみんなできれいにできたことはよかった。主任だけではできないことは部会などで整理する必要があると思う。しかし備品の整理ではなく普段の理科室の清掃もできていないので今後指導すると良</li> <li>図書室の飾り付けは良いが本来子どもが落ち着いて読書ができるシンプルで落ち着いた環境を作るべきではないか？文字を色で作ったり上からのものを作成する必要があるのだろうか。安全面で疑問のものもある。</li> <li>瓶の整理を計画的に進めていくことが必要である。必要のないものはしっかりと廃棄していくことも必要。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に整理整頓がされていると思います。</li> </ul>
家庭・地域との連携	18	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの年間計画で少年の主張の日に？マークがあった。正確な日にちが分かったものは修正した方が迷わなくて良い。</li> <li>校庭でお話会などをやるとどんなことをしているか外部にわかりやすいと思う。</li> <li>不審者が出たのに雨だったから一斉下校ではなくなった。親としたら一斉下校の方が安心</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報交換・意見交換・保護者会等で現状を話され公開されている。また携帯等に発信され行き届いていると思います。</li> <li>ホームページが随時更新されているので確認しやすい。</li> </ul>
	19	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材リストは知らないので機会を設けて欲しい。</li> <li>総合的な学習の時間・生活科等で地域の方々の協力を必要とする単元がかなりある。一目でわかるようなデータブックを作っておく</li> <li>2年生の「町たんけん」で保護者の方に協力を得て実施することができた。</li> <li>米作りでは指導者に大変お世話になった。</li> <li>2年生は獣医さんにきて頂くことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員として会議の都度学校の現状を細かく説明してもらっていて実情がよくわかっています。</li> <li>支援ボランティアの活用ができています。</li> <li>不審者出没等の情報が共有されている。</li> </ul>
	20	学校は、家庭・地域社会と連携協力し、子どもの問題解決を図っている。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>とても大変時間も手間もかかる。</li> <li>昼間やるよりも暗くなってからからやると良いと思う。</li> <li>教育相談日のお知らせが分かりづらい。月1とか定期的な日程で行った方が保護者も来やすくなるのでは。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の交通安全指導、自転車の乗り方等自分の命は自分で守る意識がやや児童に欠け</li> <li>先生方の交通安全(通学時)には非常に感謝している(忙しいのに見守り等して頂いたり同行指導して頂いたり等)</li> </ul>